

小山市事務事業評価シート

平成30年度版

No. 35

1. 基本情報				
＜1＞事業・業務名	市内排水対策事業		＜2＞事業・業務の別	事業
＜3＞選定基準	③ 平成29～30年度総合計画実施計画の計上事業		＜4＞継続評価・新規評価の別	新規評価
＜5＞総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり	＜6＞担当部(局)	建設水道部
	中項目	5-3 みんなの暮らしを支える生活基盤整備	＜7＞担当所属	道路課
	小項目	5-3-3 道路	＜8＞担当係等	保全維持係
	施策	道路安全施設の強化		
＜9＞根拠法令・計画等	道路法	＜10＞関連・類似事業	交通安全施設整備事業	
＜11＞会計	一般	会計	＜12＞予算科目	8 款 1 項 2 目
＜13＞実施期間	年度 ～ 年度	＜14＞全体事業費	千円	
＜15＞実施手法	全部委託		「その他」の場合 ()	

2. Do - 実施 -								
＜16＞事業・業務の概要	道路を安全に利用していただくために、側溝等の整備を行い道路排水の対策を行う。							
目的	＜17＞事業・業務の目的	道路上の滞留する雨水を排水し、快適に生活、通行してもらう。						
	＜18＞事業・業務の対象	側溝等が未整備で排水に問題のある道路						
手段	＜19＞平成29年度の活動内容	排水対策に向けた工事を行うための測量等による現地調査を行う						
	＜20＞活動指標(アウトプット)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
測量・設計	件	4	4	7	1	14.3%		
成果	＜21＞事業・業務の成果	現地調査の結果をもとに側溝等の整備により排水対策を行う						
	＜22＞成果指標(アウトカム)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
工事	件	7	11	6	13	216.7%		
コスト ～資源の投入量	＜23＞投入指標(インプット)	区分	単位	平成28年度		平成29年度		
				計画	実績	計画	実績	投入率(%)
	コスト	千円	25,443	24,699	41,439	34,119	82.3%	
	事業費等	千円	24,000	23,256	40,000	32,680	81.7%	
	財源内訳	国・県補助金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
一般財源	千円	24,000	23,256	40,000	32,680	81.7%		
人件費	千円	1,443	1,443	1,439	1,439	100.0%		
正職員	千円 × 人役	7,214 × 0.2	7,214 × 0.2	7,195 × 0.2	7,195 × 0.2			
他の職員		×	×	×	×			

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 目的・対象の 妥当性	1.妥当である	理由	地域住民や地元自治会が道路排水に問題を抱えていると感じている路線は市内に複数存在しており、現地調査を行った後に対応工事を行って問題を解消するために重要であるとする。
		<25> 手段や実施手法の 妥当性	1.妥当である		
	有効性	<26> 成果の向上余地	1.向上の余地なし	理由	事業実施に伴い市内の道路排水を良好にすることができたので、本事業は妥当である。
	効率性	<27> 事業費や人件費の 削減余地	1.削減の余地なし	理由	調査設計から工事完了が単年となる事業が少ないのに対し、市民からの要望は多い状態である。そのため今後は事業費が増加すると考える。
	公平性	<28> 受益者負担の 適正化余地	1.適正	理由	多くの要望に対して精査を行い、対応が必要な路線に対して事業化を行っているため適正である。
	<29>総合評価	1.改善の余地なし	理由	今後、事業費が増加していく可能性はあるが、現状では地域住民、地元自治会が要望を行った箇所に対し調査設計から工事着手の流れで対応しており、大きな問題もなく妥当な事業であり、大きな改善も必要ないと考える。	

4. Action - 改善 -

事業の改善	<30> 事業の課題 事業の改善点 今後の進め方等	要望から対応工事完了までの時間が長くなるものがあるのに対し、要望件数が毎年増えていくことがあれば対応しきれない状況が考えられるため、要望内容を精査し事業化することが必要と考える。			
事業の方向性	<31> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由	安全で安心した生活を支えるために必要不可欠な排水対策事業なので、効果的に事業を進めるための予算確保を行い、道路排水を良好にしたまちづくりを図る。
	<32> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由	安全で安心した生活を支えるために必要不可欠な排水対策事業なので、効果的に事業を進めるための予算確保を行い、道路排水を良好にしたまちづくりを図る。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<33>実施計画	要望路線に対し、調査設計を行い工事を行う	<35>コスト	区分	単位	平成30年度	平成31年度
						計画	計画
				コスト	千円	46,439	51,439
	<34>活動・成果目標	本事業を行うことで道路排水を改善し、良好な状態で道路を利用してもらう		事業費等	千円	45,000	50,000
			人件費	千円	1,439	1,439	